

9月20日
しめきり!!

※消印有効

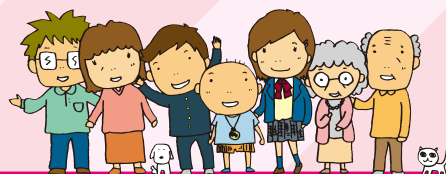
経済は教科書のなか
だけじゃない。
あなたにとつての
「経済」はなんですか？



金融広報中央委員会は、
全国の高校生・高等専門学校生等を対象に
「金融と経済を考える」小論文を募集します。
みなさんがふだん考えていること、
将来に対する思いをまとめて、ご応募ください。

第12回

金融と経済を考える 高校生小論文コンクール



特選5編 (賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

秀作5編 (賞状と奨学金2万円)

■佳作50編(賞状と図書カード5千円分)

■学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)

テーマ:自由

テーマは、金融や経済に関するものであれば、どのようなものでも構いません。テーマを考える際の参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。テーマを決めた後、作品の内容にふさわしいタイトル(題)をつけてください。

★テーマの例

① あなたのライフプランと働くことについて

あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職を付ける、会社で働く、起業するなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

② 日本のこれからを考える

現在の日本経済には、少子高齢化の進展、労働力人口の減少、政府債務残高の増大、若年層を中心とする雇用問題など、様々な問題があるといわれています。また、新興国の経済力の高まりなどを背景に、海外との関わりも変化しています。これからの日本はどのような経済社会を目指すべきでしょうか。具体的な問題とその克服に向けたアイデアを中心に、あなたの考えをまとめてみてください。

③ 日本経済を活性化する将来有望な産業とは

新エネルギーの利用や、環境に優しいエコ商品、ユニバーサルデザイン、あるいはゲームやアニメなどのコンテンツ産業等、新たな経済活動が活発になってきています。「ゆるキャラ」を伴う地域おこしなど、地方を活性化させようとする動きも全国各地でみられます。あなたが注目する産業について、その特徴をまとめ、将来有望であるとする理由を述べてみましょう。

④ 消費者としてのルール

ものを買う、サービスを利用するなど、消費者として行動する際に、あなた自身やあなたの家族で決めているルールはありますか。また、消費者トラブルに巻き込まれないためにどうすればよいと思いますか。なるべく具体的に、ルールを紹介したり、あなたの考えをまとめてみてください。

第12回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

[応募資格] 高校生、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生

[賞] ●特選5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作5編(賞状と奨学金2万円)

●佳作50編(賞状と図書カード5千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2014年9月20日(土) ※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<http://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル3F

金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。<http://www.ron2014.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-3212-6165(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <http://www.ron2014.jp/>



小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくのに必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身につけることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「経済や金融のしくみ」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。小論文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力を、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

自分の将来のために、いま考えよう!

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。

金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から2,234点の作品が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



第11回
(2013)

受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/ronbun/index.html>

金融担当大臣賞

お小遣い帳のススム

東京都 お茶の水女子大学附属高等学校 1年
小山 百合香さん

作品の内容

筆者は、中学3年生までお小遣い帳をつけることを親から義務付けられていましたが、高校進学後はその「煩わしさ」から解放されました。小遣い額は増えたのに、頻りにピンチを迎えるようになります。小遣いは「お金の使い方を考える機会を持つ」という意味もある」との母の言葉を思い出し、支出の内容を検証することで消費傾向や無駄遣いが見えること、対策を立てられることに気がきます。「お金の管理法について現実的な解を見いだしている」などと高く評価されました。

受賞者の声

たかが小遣い、されど小遣い。限りある小遣いを有意義に使うためにも、将来家計をやりくりする練習のためにも、今計画的にお金を使うことは大事だと思います。お小遣い帳という便利なツールを自分なりに工夫して使い、賢い消費者を目指していきたいです。

文部科学大臣賞

価値を決める

東京都 中央大学高等学校 3年
小林 琴衣さん

作品の内容

家が農家の筆者は、夏休みに枝豆の計量、袋詰めを手伝っています。作業が雑になり、大人に注意された経験から、仕事の精度によって自らが商品価値を決めていること、働くことの重要性に気がきます。珍しさや品質でも商品価値が変化すること、自分以外の者が価値を決める面もあることについて、考察します。正しい価値判断のために、様々なことを知ることが大事であると、結論付けています。「価値について多面的に考察し、自分の言葉で表現している」などの点が評価されました。

受賞者の声

自らの体験を活かし、経済について考えるのは新しい視点から周りを見ることができ、おもしろかったです。私なりの意見を認めていただき、とても嬉しいです。どのようなことでも、良い仕事をしていきたいです。

日本銀行総裁賞

文化祭を通して学んだこと

兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年
岩淵 麗さん

作品の内容

筆者は、文化祭で焼きそばなどの模擬店の代表者を務めました。道具や食材の準備、値段設定、味付けなどを話し合いながら試行錯誤して経営します。商売が一番大切なのはお客様だが、働く人の条件にも考えを及ぼさなければならないこと、予算内で希望を叶えることは難しく何かを妥協しなければならないこと、商売相手との信頼関係の大切さなどを学びます。「実体験を通じた等身大の、地に足のついた考察である」などと高く評価されました。

受賞者の声

商品が売られるまでには様々な努力や工夫があり、品物や値段に売り手の思いが反映されることがよく分かりました。商売する立場でお金と向き合って1円の重みやお金の大切さを実感しました。今回の体験を通して多くの気づきや学びがあり、今後に生かしていきたいです。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

消費活動とメディア

大分県 大分東明高等学校 2年
岩田 美咲さん

作品の内容

祖母や母親が鯖の水煮に執心しているのに驚いて筆者が調べてみると、鯖にダイエット効果があるというテレビ番組の影響でした。得をした自分にさせる情報を流すメディア側にとって、私たちはお金を払ってくれる都合の良い消費者、と指摘。メディアに惑わされないためには、複数の情報媒体の並行利用などで「情報を見極める力を培った消費者」になるように訴えています。「身近な状況を分析し、消費行動がつけられたものだと主張している」などの点が支持されました。

受賞者の声

消費活動におけるメディアの及ぼす影響が非常に大きくなっているにもかかわらず、その影響に気づいている消費者は多くない、と感じます。これからますます情報化する社会の中で、メディアに惑わされず、自分の意志で消費活動のできる人になりたいです。

金融広報中央委員会会長賞

データの価値

岐阜県 岐阜県立大垣商業高等学校 2年
鈴木 颯太さん

作品の内容

音楽や映画の違法ダウンロードの問題について、本なら万引きになり犯罪行為と意識されるのに、見えるものと見えないものでは物の価値の捉え方が変わる、としています。筆者はCD購入で好きなアーティストを応援していくと述べ、「作った人の苦労や想い」など、見えないけれどもしっかり見つめるべきものを忘れないようにするのが課題、と主張しています。「物とデータ間の認識差から生まれる矛盾をよく分析できている」などと評価されました。

受賞者の声

ネット社会の現代における重要な問題の一つ「違法ダウンロード」について、平日頃からの考えを小論文にしました。読んでくださった方が違法ダウンロードについて考えるきっかけとなれば幸いです。

秀作

「私の姉の生き方から学ぶもの」
京都府 立命館宇治高等学校 1年
藤井 奈々さん

「2歳からのエコノミスト」
京都府 同志社女子高等学校 1年
藤井 満里奈さん

「御用聞きのススム」
大分県 大分県立日田高等学校 2年
深見 友哉さん

「復興と次世代のグローバル社会にむけて」
岩手県 岩手県立不来方高等学校 3年
丸山 風音さん

「汚いお金」
東京都 中央大学高等学校 3年
前田 綾香さん

学校賞

東京都 お茶の水女子大学附属高等学校

東京都 中央大学高等学校

兵庫県 西宮市立西宮高等学校

大分県 大分東明高等学校

岐阜県 岐阜県立大垣商業高等学校

第11回
審査員
(敬称略)

大竹 文雄(大阪大学社会経済研究所教授) 細野 真宏(Hosono's Super School代表) 天野 晴子(日本女子大学教授) 古澤 知之(金融庁総務企画局政策課長)
永井 克昇(文部科学省初等中等教育局視学官) 小林 洋司(全国公民科・社会科教育研究会会長) 丹治 芳樹(日本銀行情報サービス局長)
本家 正隆(金融広報中央委員会会長)

